（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	すがたの森			
○保護者評価実施期間	令和6年4月1日	～	令和7年2月12日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	9	（回答者数）	6
○従業者評価実施期間	令和6年4月1日	～	令和7年2月12日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	9	（回答者数）	9
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月17日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	清潔で心地よく過ごせる環境が整備され、子どもの活動等のスペースが十分に確保されている。	片付け、掃除を療育に入れて取り組んでいる。	現状維持に努める。掃除の年間計画を立てる。(エアコン掃除をする月、窓ふきをする月など)
2	子どもたちの特性に合わせた療育ができている。	日々の変化はその日のうちに伝達している。 特性にあった療育を組み込んでいる。 毎日の記録を取り、連絡事項として共有している。	情報共有会議を定期的に行い、職員全員が子ども一人ひとりの様子を周知できるようにする。
3	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができている。	発見や気づきがあればその日のうちに保護者さんに伝えている。申し送り、連絡帳などのデータも活用。保護者さん、学校や相談員さんからの連絡を密にしている。	おたよりで子どもの様子が伝わるようにする。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常時の訓練やマニュアルが保護者に周知されていない。	避難訓練や研修は行っているが、保護者さんへの発信が少ない。	おたより等で研修や訓練の内容を発信していく。
2	家族同士の交流が少ない。	新規開設に伴い、イベントなどの調整が遅れてしまった。	ご家族の交流ができるようなイベントを徐々に増やしていく。
3	協議会や研修等の機会が少ない。	療育に関する研修、他事業所訪問などを優先した。	協議会や他事業所の研修等に積極的に参加し、職員の資質を向上させる。